

バングラデシュ・ダッカにおけるテロ事件に関する決議

現地時間7月1日に、バングラデシュの首都ダッカにおいて、発生した飲食店襲撃テロ事件の死者は、富士見市民を初めとした日本人7名を含め、22名に及んだ。

大きな志をもって、バングラデシュの発展のため尽力された方々の無念を思うと痛恨の極みである。

富士見市民を含む多くの死傷者が出たこの惨事に対し、市民を代表し、犠牲になられた方々並びにその御家族の方々に対し心から哀悼の意を表するとともに、負傷された方々に対し心からお見舞いを申し上げます。

残虐非道なテロ行為は、とうとい人命を奪うとともに、民主主義を踏みにじり、世界平和を脅威にさらすものである。

こうした行為は、いかなる理由であれ、国際社会において厳しく糾弾されるべきものであり、断じて許すことは出来ない。

富士見市議会は、日本を初め世界各国の政府に対し、テロの根絶に向け、徹底した取り組みと真の世界平和の実現を強く求めるものである。

ここに、決議する。

平成28年 月 日

富士見市議会